

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	のぞみ発達支援室きさらづ第二		
○保護者評価実施期間	2025年1月6日 ～ 2025年2月1日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	58 (回答者数)	49
○従業者評価実施期間	2025年1月6日 ～ 2025年2月1日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童発達支援から継続して利用して下さっている方が多く、お子さんの年齢やタイプに合ったグループの提供が可能。	・指導場所が2か所あり、指導内容や課題を分けている。	・課題内容のバリエーションを広げる。 ・見学の随時受付を継続。
2	・学校での様子にも目を向け、本人が感じている集団生活での困り感や悩みを聞き、子どもたちが快適に集団生活を送れるような対応を考え共有することを心がけている。	・必要に応じて関係機関とも積極的に情報共有を行い、本人に合った支援方法を見つける。	・本人からの聞き取りやご家族との面談などを必要に応じて継続。
3	・ご家族からの相談を受けるなど、子どもたちを支援して下さるご家族の皆様のサポートにも力を入れている。	・指導後にその日の様子をフィードバックするとともに、指導中の児童の気になる様子があれば積極的にご家族に声をかけ共有し、家庭での悩みなども伺う。	・子どもとの関わり方など、ご家族が困った際に活用できる資料を廊下に掲示することを継続。（不定期で更新）

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・振り替えの利用が難しい方が多い。	・送迎がなく指導時間も短いため、共働き世帯は特に仕事を調整することが困難。 ・お子さんの年齢やタイプに合ったグループを提供しているため、振り替え先のグループも希望に添えないことがある。	・振り替えをできるだけ多くの人に利用してもらえるよう、システムの見直しを検討。
2	・新規の受け入れが難しい。	・定員数に達してしまっている。 ・長期にわたり継続して利用して下さる方が多いため、空きが出ない。	・今後希望者をどのように受け入れていくか対策を検討。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 のぞみ発達支援室さくらづ第二

公表日 2025年3月28日

利用児童数 2025年2月1日

回収数 49

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	48	1			・運動できる空間が広くありがたいです。 ・子どもたちがとてもおのびのびと活動できており、ありがたく思っています。 ・いつもバステルハウスで元氣いっぱい身体を動かして楽しそうです。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	43	6			・一人一人よく見てくださり、安心して活動できています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	49					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	48	1			・環境が良く、楽しく活動に取り組んでいます。	
適切な 支援 の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	46	3			・子どものできることが増え、自信を持てることも増えています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	45	1		3		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	49				・とても理解していただいております。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	47			2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	48	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	47	1		1	・毎回楽しみに通っています。 ・活動プログラムが多岐にわたり、よく練られたり準備されており、素晴らしいです。 ・絶妙な頻度でプログラムを組んでくださり、毎回楽しく活動できています。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	5	30	8	・時間的に交流するのは難しいと思います。	
保護 者 へ の 説	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	49					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	44	2	1	2		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	28	5	6	9		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	47	2			・困ったことがあるとまず相談させてもらっています。 ・授業後のフィードバックや評価表の記載内容がとても充実している。 ・子どものことを伝えやすい雰囲気を作ってくださっており、相談多々させていただきます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	41	6		2	・面談はありませんが、相談をすると助言をいただけるので感謝しています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	47	2			・相談しやすい雰囲気でおかっています。	

明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20	11	7	11	・クリスマス会など親子（きょうだい）一緒に楽しく参加させてもらったり、待ち時間では保護者間で話ができたりと交流はたくさんありました。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	42	2		3	・お忙しい中でも都度時間を作ってください、子どもの気持ちも聞いていただけたら、ご対応いただき感謝しております。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	43	2	1	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	26	6	4	11		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	45			2		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	6	3	9		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	30	4	2	11		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	39	2		6		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	38	1	1	7		
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	47				・子どもはいつも楽しみにしています。いろいろなプログラムを考えて下さりありがとうございます。特にバステルハウスでの活動が好きなようです。 ・本人にとって安心して活動できる居場所の一つになっているようです。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	45	2			・いつも楽しくはりきって通っています。ありがとうございます。 ・たまのイベントやごほうびの自分の好きな活動ができることなどがうれしいようです。 ・毎回楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	44	2			・職員の方々の対応について、とても満足しております。いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。 ・8年目ですが、大変満足しています。ありがとうございます。 ・通い続けていて良かったと思っています。いつもありがとうございます。 ・こちらに通所できていること毎回大変ありがたく感じております。 ・子どもにとって安心できる居場所となっています。いつもありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		のぞみ発達支援室さくらづ第二				
		公表日 2025年 3月 28日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	1	3		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			・個々では都度できていると思うが、全体で行う機会は少ない。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・法人内研修がある。 ・市や県の紹介する研修情報を共有している。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	1	3		・今年度内に作成・公表します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1		・サブのスタッフに対しての共有は薄い。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		・児童記録を毎日つけている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	2		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1		・リーダー、サブの役割がもう少し分かれ、待ち時間を減少できると良い。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1		・必ず、はできていないが、気付いた点は共有し、記録に残している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			・機会は少ないが、必要だとは感じるため、体制を整えて、力を入れられると良い。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			・機会は少ないが、必要だとは感じるため、体制を整えて、力を入れられると良い。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1	・保護者を通じての情報共有	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		・定期的な資料の掲示 ・外部の講演会の案内なども掲示することがある。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			・支援プログラムは今年度中に作成予定。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	2	・年3回程度イベントあり。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		・ありがたいことに、今のところない。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1		・年1回ではなく、定期的に行えると良い。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4			